



平成 21 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 日本アジア投資株式会社  
代表者の役職名 代表取締役社長 松本 守祥  
(コード番号 8518 東証一部)  
問い合わせ先 取締役 細窪 政  
T E L 03 (3504) 8518

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消のお知らせ

この度、当社は、平成21年6月30日提出予定の「平成21年3月期有価証券報告書」においては「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

#### 記

当社グループは、前連結会計年度において、内外株式市況及び経済環境の悪化によるキャピタルゲインの減少、及び営業投資資産に対する評価損や投資損失引当金の繰入等により、31,382百万円の営業損失を計上致しました。これに伴い32,696百万円の経常損失を計上し、加えて営業目的以外の投資有価証券に係る評価損や、繰延税金資産の取崩などにより34,899百万円の大幅な当期純損失を計上致しました。また、営業キャッシュ・フローも10,810百万円の大幅なマイナスとなりました。

そして、現在の内外株式市況及び経済環境下において、営業投資資産の売却による潤沢なキャッシュ・フローの確保が困難である前提においては、借入金及び社債（私募債）の約定弁済の履行が難しい状況にあったことから、各取引金融機関に対して弁済スケジュールの変更等契約条件の変更を要請し、協議を進めておりました。

平成21年3月期決算短信及び会社法連結計算書・計算書類においては、当該金融機関との協議が途上であったことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして、継続企業の前提に関する注記を記載しておりました。

しかしながらその後、平成21年6月24日付「事業再生ADR手続成立のお知らせ」にて発表致しました通り、弁済スケジュールの変更を織り込んだ返済計画を含む「JAIC事業再生計画」につき全取引金融機関よりご同意を頂き、継続企業の前提に関する重要な不確実性が現時点では認められないこととなりましたので、当該注記の記載を解消致しました。

株主をはじめとするステークホルダーの皆さまには、大変ご心配をおかけ致しましたが、役職員一丸となって業績の向上に努めて参りますので、引き続きご支援の程宜しくお願い申し上げます。

以 上